



# みんなのひろば



近藤 貴志  
(上坪西)

## 素直な心で

「あなた、ここは禁煙席ですよ」「あつ失敬」。20年程前になろうか、新幹線の車中での出来事だった。座席でくつろいでいる時、突然にその声が耳に飛び込んで来た。声のする方を振り向くと禁煙席からタバコの煙、それを見とがめての注意だ

った。そこが禁煙席である事に気付かなかったのだろう、注意されるとその人は即座にタバコを消し、非を詫びたのだ。人はともすれば、他人から間違いや欠点を指摘されれば自分が悪いと判っていて腹も立つ。しかし、素直な心で自分を省

みる事が出来るなら間違いに気付き、非を正す事も出来る。また、それこそ人として成長も出来る。素直な心で日々を送りたい。



塩田 育美  
(高橋)

## ペットと

## 観光地

我が家には1匹のワンコがいます。5才のマルチーズです。家族の声に反応して、喜んでしっぽを振ったり首を傾げたりします。そして、寝るときに仰向けになったりする無防備さにもかかわらず、1つだけ困ることがあります。

す。それは、旅行です。観光地では、お店に入れなかったり旅館に宿泊できなかったりすることが多いので、誰かに預けて行かなければなりません。ある調査では、15歳未満の子供の数よりペットの数の数が多いとされています。

いる中、子供に配慮した観光地は数多くありますが、ペットに配慮した観光地はまだ少ないのが現状です。観光地としての大山は、将来を見据え特色を出してもらいたいと期待しています。



松原 慎一  
(佐摩)

## 学童保育に携わって

私は今年の四月より、大山小学校大山児童クラブの仕事に携わっています。平日の放課後5日間保護者が児童を迎えに来られるまでの時間、子供たちとゲームや遊びを通して、交わる時を持っています。時にはグラウンドや体育館で共に走り回る

こともあり、息切れ切れで、汗ビッシュヨリ一日を終えた時、体力的な衰えを感じることもあります。十人ほどの児童ですが、性格や趣味は異なり、遊びの調整に苦慮することがあります。しかし、児童たちのくつたくのない笑顔を見るとホッとします。

ます。遊びや学習を通して児童たちが伸び伸びと育ってくれることが私の願いです。幸いにも先輩指導員の助言と学校側の協力が、日々の活動の支えとなっています。今後とも児童の目線に立ち励んでいきたいと思っています。

## あとがき

新町長、新議員が誕生しました。町民とじかに接し、足で歩いて、そして時には町民と共に涙を流す……足と汗と涙の行政が本物の行政だと思っています。議会広報は「議事公開」の原則を積極的に展開して「議会の実態」議員の主張や意見をストレートに「完全公開」するものです。町民の「知る権利」議会側の「知らせる義務」を果たす手段です。次の柱、原則を基本と技術として、編集したいと思っています。(富)

### 議会広報記事の四本柱

1. 一般質問
2. 議案審議の記事
3. 議会活動の記事
4. 住民登壇(住民との対話)の記事

### 五原則

1. 編集の自主性
2. 議会情報の完全公開
3. ありのままの公正、客観的な記事
4. 親しみやすい、読者の立場にたった紙面づくり
5. 住民参加型の編集企画と記事

### 《発行責任者》

- 議長 荒松 廣志  
《広報委員会》  
委員長 西山富三郎  
副委員長 大森 正治  
委員 池田 満正  
委員 杉谷 洋一  
委員 米本 隆記  
委員 竹口 大紀